

初代・国立劇場小劇場

(演劇部門)ファイナーレ公演!

山本周五郎・原作

『赤ひげ診療譚』より

田島栄・脚色

十島英明・演出

赤ひげ

人間の本当の価値というものは

何をしたかではない

何をしようとしているかだ!

渡会元之・画



新出去定
嵐圭史

撮影：中村勝昭

2023年 国立劇場小劇場

10月23日 月 ヒル 14時00分 (開場 13時30分)
ヨル 18時15分 (開場 17時45分)
24日 火 ヒル 13時15分 (開場 12時45分)

全席指定
9,000円

原脚 山本周五郎
演出 田島英明
演出補 十島風静
演出協力 赤星宏
美術 内山勉
演奏 岩田憲
照明 須賀己
音響 小倉潔
舞台監督 岡本尚
デザイン 井藤誠

チケットサービス
TEL: 070-7785-4477
Eメール: keishi.akahige@ymail.ne.jp

制作 寺田裕子 / 制作協力 劇団アルファ

この物語の主人公は“赤ひげ”ではない。エリート
の青年医師“保本登”こそが、その栄誉を獲得している。
保本の無知蒙昧な貧民への蔑視が何によって、どう、
変革されていくのか“成長物語”の感動がそこにある。

あの感動の舞台

赤ひげ

いまここに蘇る！

アンケートより

(2013年上演時)

- 赤ひげのせりふが、いまの時代に鋭く響き、とても勇気をいただきました。
- リハビリ専門学校に通っています。医療の重さ、学ぶことの大事さを考えさせられ、自分の足りなさにも気づき、とても感動した。
- 長屋住民との接触のなかで、長崎帰りの医師保本登は、患者の病の背景に「社会の病気」があることに気づき、その現実の姿が保本を変えていく。
保本登の成長ドラマであると共に、社会的に弱い立場の人たちへの、ときに厳しい、叱咤激励の劇ではなかったか。会場に感動が広がった。

【前進座 所属俳優】



益城孝次郎

前園恵子

嵐市太郎

森下和

絲木建汰

高峰華

嘉月絵理

村上佳南

嵐圭史

貴田拳

阿部勉

上田彩楓

松坂玲奈

村杉泰葉

岩崎聡子

台田ケイ子

飯田正

安岐健史

水野陽吹

片桐健人

桑山元

伊藤重弥

(株) 本の泉社

東京都文京区水道2-10-9
板倉ビル2階
TEL.03-5810-1581
FAX.03-5810-1582

嵐圭史 著

自選随筆集成

余韻嫋嫋

定価：2000円(税込)



好評販売中

嵐圭史サポート委員会(島倉昌司(事務局)・石田聡・井藤英治・及川昭義・岡田雅之・中村茂樹・馬場光則)